

いわて花巻空港

スカイフェスタ 2009 を開催しました

空港課・花巻空港事務所

「空の日（9月20日）」を記念し、9月23日（火）に「いわて花巻空港スカイフェスタ2009」を開催しました。平成6年度に花巻空港開港30周年記念事業として初めてのスカイフェスタを開催してから今回で16回目の開催となります。平成21年4月9日に新ターミナルがオープンしてから初めての大きなイベントで、国（航空局、気象庁）、県、民間（航空会社、ターミナルビルなど）の空港関係者はもとより、利用促進に取り組む地元花巻市、花巻商工会議所、利用促進協議会、さらに花巻空港整備工事等の建設会社、空港周辺の地域の人々が協力し、官民一体となって実施しました。

当日はあいにくの雨となりましたが、アクロバット飛行・防災航空隊のデモンストレーションなどのほか、バザーコーナー・国内就航地PRコーナー・台湾PRコーナーなどの「イベントテント」、太鼓演奏・吹奏楽演奏・弦楽ミニコンサート・よさこいソーラン・カントリーダンスなどを披露した「ステージイベント」、普段は見る事が出来ない「管制塔・気象室見学」など、様々なイベントを開催し、10,330人のお客様で大いに賑わいました。

本イベントの開催などを通じて、いわて花巻空港が皆さまから親しまれ、地域とともにより一層発展する空港となるよう努めてまいりますので、ご旅行・ご出張などの際には、いわて花巻空港を是非ご利用ください。



日本が誇る世界的エアロパティックパイロット室屋義秀氏が率いる民間エアロパティックチーム「ティーズフルース」によるアクロバット飛行



防災航空隊救助デモンストレーション
(岩手県防災航空隊による救助活動の実演)



走行・放水デモンストレーションを行った
空港用化学消防車



空港内一周バスツアー



たくさんのお客様で賑わったイベントテントエリア



ステージイベントの様子



岩手県警察本部少年サポートセンター



国内就航地PRコーナー(札幌・大阪・名古屋)
中部国際空港(セントレア)の方々が来訪しPRを実施



台湾PRコーナー
台湾のおいしい烏龍茶を無料で提供しました

「空の日」とは??

日本の航空活動は、日野・徳川両陸軍大尉が初飛行を行った明治43年(1910年)から始まっています。

それから30年目の昭和15年(1940年)に、日本の航空の歴史を記念し航空思想の高揚と航空技術の振興を図り、航空日本の将来の発展に努めるための国家的行事を実施すべきとの意向が航空関係者の中で強く要望されました。そのため、9月20日を「航空日」とすることが制定され、その後、民間航空再開40周年にあたる平成4年には、よりソフトな呼び方の「空の日」と呼ぶこととし、併せて「空の旬間」を設けて各種記念行事が行われています。